

自治体との連携強化

→ 釧路市と連携協力協定を締結 (R7.5)

【連携の内容】

- (1) 広域複合災害研究センターが実施する研究集会、講義及び研究プロジェクトへの釧路市の参画
- (2) 釧路市が実施する防災に係る施策・事業に対するセンターの助言
- (3) 釧路市の災害対応に関するセンターの助言
- (4) 防災・減災に関する人材育成や研究上の意見交換
- (5) 地元住民に対する防災啓発活動への相互協力

→ 社会のニーズを踏まえた研究教育の推進
住民に対する防災意識啓発への協力
防災に関する各種計画策定・改訂の支援

釧路市との締結式 (R7.5.27)



佐々木センター長
鶴間釧路市長

他自治体への展開

八雲町と締結 (R8.2.17)



佐々木センター長
萬谷町長

新十津川町と締結 (R8.2.25)



佐々木センター長
谷口町長

社会人向けリカレント教育の実施 (R7.10~)

- 多様な災害リスクに柔軟かつ包括的に対応できる防災の専門家の育成を目指し「**広域複合災害減災を強力に推進する専門人材養成プログラム (N-HRP)**」を開講
- 大学院共通科目「災害対策実践論」「突発災害危機管理論」を受講する形 (オンデマンド受講も可)
- 実務経験者および北大の研究者から最新の知見を学ぶ
- 自治体の防災担当者の他、民間企業の技術者等も対象



講義の様子



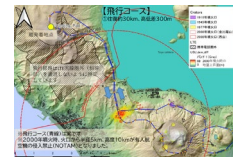
ワークショップ形式の講義

VTOL型固定翼UAVの有珠山周辺試験飛行 (R7.10)

- 有珠山の噴火に備え、VTOL型 (垂直離着陸) 固定翼UAVを使用したレベル3.5 (目視外飛行) での試験飛行を有珠山周辺で実施 (**国内初**)
- 厚井高志特任教授, 村上泰啓客員教授が中心となり実施



使用機材



飛行ルート

北海道の地震被害想定への関わり

- 岡田成幸客員教授 (前センター特任教授) が座長の減災目標設定ワーキンググループで北海道の地震被害想定を検討
- WG委員としてセンターメンバーが参画: 谷岡学術研究員、橋本教授 (文学研究院)、中嶋准教授 (工学研究院)
- R4に太平洋沿岸、R7に日本海沿岸の地震被害想定を公表

→ 行政の防災施策の推進にセンターメンバーが貢献

海外連携強化

- ガジャマダ大学、公共事業省砂防技術センター 訪問@インドネシア (R7.11)
- JICAフォローアップ研修への協力@ペルー (R8.3)



ガジャマダ大学での
意見交換



インドネシアでの現
地調査



ペルーでのJICA
フォローアップ研修

普及啓発活動

- 中学校の宿泊学習において防災講話を実施 (R7.7)
- 「道新みんなで考える防災展」特別協力 (R7.9)
- 釧路市で令和7年度防災シンポジウム「巨大地震が引き起こす広域複合災害の影響と減災」を開催 (R7.10)
- 砂防学会北海道支部講習会後援・話題提供 (R10.17)
- 札幌市総合防災訓練への参加 (R8.2)
- ほっかいどう防災教育協働ネットワークへの参画
- これ以外にもイベントの後援やメディア出演等多数



シンポジウム開催状況

その他の主な活動

- 2025年カムチャツカ半島地震への対応を振り返る勉強会開催 (R7.8)
- センターメンバーによる勉強会開催 (R8.2~3)



道新防災展ブース

ホームページは
こちら

